

〈基本理念〉「町民の安全安心を守り、人と環境に優しい庁舎」

基本方針1 防災拠点となる庁舎

高い安全性、確実な業務継続性、機動性を発揮するBCP庁舎(※1)

- ・合理的で十分な耐震性能を備えた庁舎
- ・日常的に役場と消防の連携が高められる平面計画とし、有事の際に機動力を発揮する計画
- ・さまざまな災害を想定した安全対策を行い、防災拠点としての業務継続が可能な計画
- ・ライフラインが途絶えても自立可能な防災拠点となる庁舎

基本方針2 全ての人が利用しやすい庁舎

シンプルで分かりやすい庁舎

- ・初めて訪れる人にも明快で分かりやすい配置
- ・役場と議会、消防の各機能がフロア単位で完結し、全ての人にとって明快で利便性の高い庁舎
- ・ユニバーサルデザインの考え方を取入れ、全ての人に優しく平等に迎え入れる庁舎
- ・余裕のある待合空間とカウンター、相談室を設置し、プライバシーに配慮した計画

基本方針3 機能的で柔軟性のある庁舎

庁舎機能の共有化によりコンパクトでフレキシビリティの高い庁舎

- ・ユニバーサルレイアウトの採用により他部署との連携が取りやすく、部署変更にもフレキシブルに対応できる計画
- ・役場と消防の会議室やトイレ、機械室等を共有したコンパクトな計画

基本方針4 環境に優しく経済的な庁舎

遠軽の気候風土を最大限活用し、維持管理に配慮したグリーン庁舎

- ・建物形状を整形とすることで外壁面積を縮減し、環境性能に優れたコンパクトな庁舎
- ・自然エネルギー、再生可能エネルギーを積極的に活用し、地球環境に配慮した庁舎
- ・徹底した省エネ手法の採用によるZEB Ready 庁舎(※2)

基本方針5 消防活動拠点となる庁舎

執務・待機環境の充実でパフォーマンスを最大化する消防庁舎

- ・速やかな出動を可能とする出動空地と最短の出動動線により高い機動性が確保された計画
- ・見通しの良い執務空間と待機空間をつなぐ吹抜け、屋外の訓練広場を見渡せる食堂・休憩室等を中心に、署内の連帯感が高められる計画
- ・多様な訓練を可能とする独立型訓練塔と訓練広場

※1 BCPとは、災害発生時に、町が被災した状況下においても、優先度の高い業務を維持・継続するために必要な措置を事前に講じる計画

※2 ZEB Ready (ゼブ レディー)とは、省エネ技術で一次エネルギー消費量を50%以上削減する建物のこと。

遠軽町新庁舎建設基本設計を作成しました

～遠軽町新庁舎建設基本設計について(その1)～

新庁舎の建設にあたり、機能や構造などについて取りまとめた「遠軽町新庁舎建設基本設計」を作成しましたので、今回からその内容について紹介します。

基本設計では、遠軽町新庁舎建設基本計画の基本理念及び基本方針・整備方針に基づき、町民が使いやすく親しまれる庁舎を目指すこととしています。

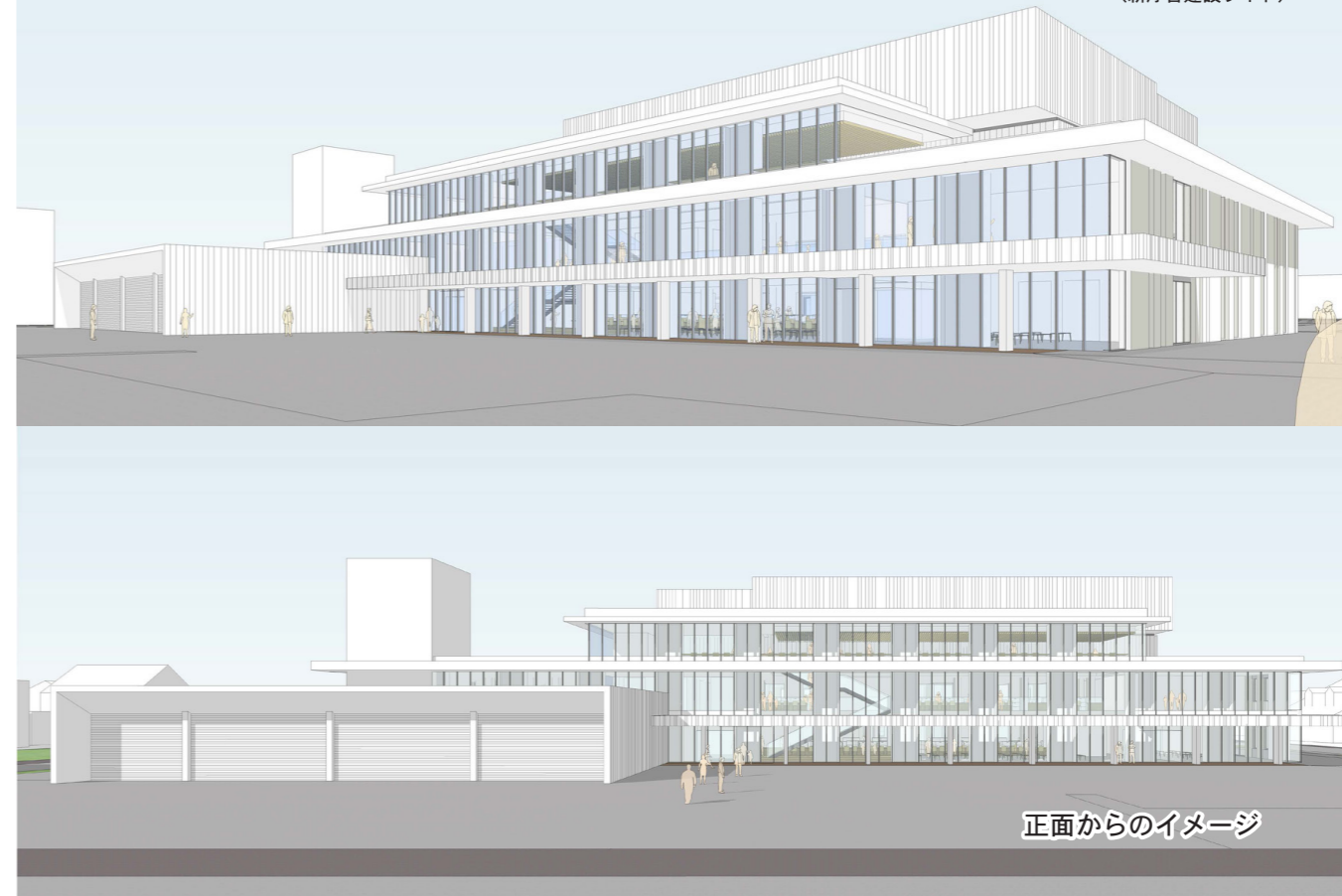
今回は、基本理念と基本方針に基づく基本設計の考え方をお知らせします。

※「新庁舎建設特集」は随時発行を予定しています。

問総務課 ☎42 - 4811



町ホームページ
(新庁舎建設サイト)



正面からのイメージ

遠軽町新庁舎建設基本設計(案)に対する意見募集の結果について

- 意見募集の概要等
 - ・募集期間 7月3日～18日
 - ・閲覧場所 役場2階総務課、各支所、町ホームページ
 - ・意見の提出方法 持参、郵便、FAX、電子メール
 - ・意見募集の周知方法 自治会巡回、町ホームページ
 - 意見募集の結果 2人6件(持参)
 - 結果の公表 役場2階総務課、各支所、町ホームページ
 - 意見の概要
 - ①庁舎建設に反対
 - ②新築はせすリフォームで現状を改善すべき
 - ③新庁舎場所変更案(JR遠軽駅と合築)
 - ④新庁舎分散案(本庁舎を瀬戸瀬に建てワンストップ対応の支所を)
 - ⑤庁内活性化案(職員研修センターの設置)
 - ⑥職員を育成し魂の入った役場を(町村合併により地域が疲弊した)
 - 町の考え方の概要
 - ①新庁舎建設にあたっては、健全な財政シミュレーションを確認した上で、基本計画策定時に町民説明会や町民意見募集手続きを経て決定しています。
 - ②現庁舎の改修については、新たに建設する場合と比べ、工事費削減効果は低いと判断したところですが、また、住民サービス向上のため、デジタル化の推進についても、さまざまな検討をしているところです。
 - ③新庁舎の建設位置については、増築に50億円から60億円程度の事業費が見込まれることから、町民の利便性の観点、防災上の観点、用地確保の観点に加え、消防の出動線や周辺住宅への日影の影響などを考え、現庁舎の前庭としております。また、JR遠軽駅舎との併設は、JR北海道との協議に時間を要し、財源確保の面や用地確保の面から、難しいものと考えます。
 - ④新庁舎の建設位置については、町民の利便性を考えると、現庁舎の前庭が最も適していると考えます。また、各支所につきましても、職員数や施設の老朽化なども考慮し、今後、さまざまな方向性を検討したいと考えております。
 - ⑤新庁舎において、研修センター等の設置については検討しておりますが、職員研修につきましても、引き続き実施します。
 - ⑥町民サービスについては、建物だけでなく、サービス提供体制や職員育成などの改善も必要だと認識しており、今後も、さらなる職員育成に努めます。
- また、合併前の旧4町村は、それぞれ大きな債務を抱え、苦しい財政状況でしたが、町村合併によりこれらの債務を整理でき、現在の地域の環境を維持できるようにしたところです。
- ※詳しくは、役場または支所でご覧になるか、町ホームページでご確認ください。

新庁舎建設特集

No.06